

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 1 月 21 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/21 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレ系:約1.9 m ³ /h	19.1	108.4 kPa abs	A系: 0.13 vol%
		給水系:約2.4 m ³ /h			B系: 0.11 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレ系:約3.4 m ³ /h	32.5	5.61 kPa g	A系: 0.04 vol%
		給水系:約2.0 m ³ /h			B系: 0.04 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレ系:約3.8 m ³ /h	32.7	0.25 kPa g	A系: 0.19 vol%
		給水系:約2.1 m ³ /h			B系: 0.18 vol%

* 絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (1/21 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	9.5
2号機	循環冷却システム	運転中	11.1
3号機	循環冷却システム	運転中	8.8
4号機	循環冷却システム	運転中	20

* 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→ 3号機 タービン建屋	1/20 13:51 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	1/18 13:48 ~ 移送実施中
6号機	6号機 タービン建屋	→ 仮設タンク	1/21 10:00 ~ 1/21 15:00 移送実施

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/21 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	停止中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

* フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・H25/1/15 9:00 第二セシウム吸着装置(サリー)のフィルタ洗浄のため、同装置を停止。今後配管部等の健全性確認を目的とした検査(非破壊検査)を実施するため、1/23 まで停止予定。

<5. その他>

- H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- H25/1/8～ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。
- H25/1/19 11:55 頃 常用高台炉注水ポンプのグランド水を受けているドレン受けから、グランド水が地面(コンクリート)へ溢れていることを当社社員が発見。ドレン受けから水中ポンプにてバッファタンクに移送するためのラインに何らかの原因が発生し、移送が出来ないことから、ドレン受けより溢水しているものと考えている。漏れた水の範囲は、約2m×約4m×約1mmであり、漏えい量は約8リットル。また、漏えい水は土のうによる堰内にとどまっており、堰外への流出はない。漏えいした水の放射能濃度を分析した結果は、セシウム-134が検出限界未満(検出限界値: $1.8 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$)、セシウム-137が検出限界未満(検出限界値: $2.1 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$)、アンチモン-125が $1.5 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$ であることから処理水であると想定。13:01～13:08 にかけてドレン受けから予備タンクへの移送を行い、13:08、ドレン受けからの漏えいは停止。なお、原子炉注水への影響はない。
- H25/1/19 13:15 頃 旧水処理建屋内に設置している使用済燃料プール水補給 用ろ過水ヘッダの弁本体よりろ過水が霧状に漏えいしていることを当社社員が発見。漏れた水の範囲は、発見時、約1m×約1mで建屋の中にとどまっており、建屋外への漏えいはない。その後、漏えいの停止に向けた弁の閉操作を実施。なお、使用済燃料プールへの水補給には影響なし。
- H25/1/21 メガフロートの移設に伴い、物揚場前での遮水壁工事の施工が可能となったことから、これまで1～4号機取水路前面エリアで先行削孔を実施していた作業船を物揚場前に移動するにあたり、1～4号機取水路前面エリア北側のシルトフェンスの開閉作業を、8:00(シルトフェンス開)から8:25(シルトフェンス閉)で実施。

以上